

令和6年度琴清苑事業計画・収支予算(抜粋)

I 基本方針

前年度は稼働率の向上が安定した施設運営の第1歩となることを鑑みて、積極的な利用者受入れに取り組みました。令和5年11月以降は稼働率93%台を維持しています。今年度も稼働率96%以上の継続を目標に各部署間での情報共有、連携協力を緊密にし、職員一丸となって、安定的な入所者確保の取り組みを継続していきます。

令和6年度介護報酬改正において、取り組むべき課題として、介護現場における生産性向上(業務改善)が挙げられています。生産性向上の捉え方として、業務のやり方を工夫することで、現在の業務から「ムリ」「ムダ」「ムラ」を減らし、業務をより安全に正確に効率的に行ない、負担を軽くすることを目的として取り組む活動のことでされています。介護現場においては、介護ロボット等のテクノロジーの活用や業務の改善や効率化等を進めることで職員の業務負担の軽減を図るとともに、改善等により生み出した時間を直接的な介護ケアの業務に充て、介護サービスの質の向上につなげていくと考えられています。

今年度は、業務改善への取り組みの初年度と位置付け、残すべきものは残し、時代に即して変えるべきものは変えるという視点で根本的な業務の見直しを行なっていきます。

当然ながら法人理念である「心の福祉」の実践を通じ、施設で生活される利用者の安心、安全の確保につとめていきます。令和5年11月に施設内で新型コロナウイルス感染のクラスターが発生してしまいました。職員各々が与えられた自身の業務を献身的にこなし、感染拡大防止につとめました。感染は利用者の重篤化と背中合わせです。新型コロナウイルス、インフルエンザをはじめとした感染症は対策を徹底していたとしても完全に防ぐことはできません。また、感染対策には大変な労力を要します。これらのことを念頭におき、日々の体調管理、業務中のマスク着用等の予防策の基本の励行につとめ、引き続き、感染対策および拡大防止

1 重点目標

(1) 安定した施設運営のため、毎月末の稼働率96%の達成

- ・安定的な入所者確保のためのベッドコントロール
- ・以前に入所受け入れがあった病院等への手紙等による積極的な営業アプローチ
- ・各部署間での情報共有、連携協力
- ・法人内での申し込み利用者の情報共有
- ・西多摩特養ガイドの活用、外部研修への参加、ブロック会からの地域情報の収集、把握

(2) よりよい職場、サービス提供を目指した生産性向上(業務改善)への取り組み

- ・生産性向上ガイドラインに基づき、各種業務の根本的な業務内容の見直し
- ・介護職員の定期的なフロア異動の実施
- ・委員会活動の見直しおよび充実、チームワークの強化
- ・業務マニュアルの見直し

(3) 法人理念である「心の福祉」の実践

- ・利用者の安心、安全の確保
- ・質の高いサービスの提供

2 地域福祉サービス計画

- ・自然災害発生時の福祉避難所としての地域交流スペースの開放、また、必要時相互援助協定に基づいた給食の提供
- ・行政との連携およびBCPの定期的な見直し

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)		
勘定科目	琴清苑会計	
事業活動	事業活動収入計①	416,944,000
	事業活動支出計②	394,668,000
	事業活動資金収支差額③(①-②)	22,276,000
施設整備等	施設整備等収入計④	0
	施設整備等支出計⑤	17,676,000
	施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	-17,676,000
その他の活動	その他の活動による収入計⑦	2,400,000
	その他の活動による支出計⑧	7,000,000
	その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	-4,600,000
予備費支出⑩	0	
当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨)-⑩	0	
前期末支払資金残高⑫	152,417,783	
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)	152,417,783	